

# スラバヤ市におけるマングローブ林を活用したエコツーリズム推進事業 (H30~R1)

スラバヤ市に広がるマングローブ林には貴重な生物が生息しているが、河川汚染による生態系への影響が懸念されている。本事業では、スラバヤ市民の環境に対する意識が向上し、マングローブ林を取り巻く環境が改善され、観光資源として活用されることにより、スラバヤ市の都市力向上を目指す。



マングローブ林に集積する河川ごみ



家庭用洗剤による河川の汚染

## 1. 「市民環境力」向上のための環境学習プランの策定

河川に投棄されたごみや未処理の生活雑排水が最終的に到達するマングローブに、市民が環境保全の大切さを学ぶための環境学習施設の建設を提案し、そこで実施される環境学習プランを策定する。



## 2. マングローブの観光モデルプランの策定

スラバヤ市のマングローブには渡り鳥や底生生物、水生生物など多様な生き物が生息している。自然体験施設整備の提案など、マングローブの観光モデルプランを策定する。

